

KNOWLEDGE
INTEGRATION
for BIG CHANGE

FUJITSU

shaping tomorrow with you

現場や社外のアイデアを事業に結びつける取組み

共創型人材を 生み出すハッカソン

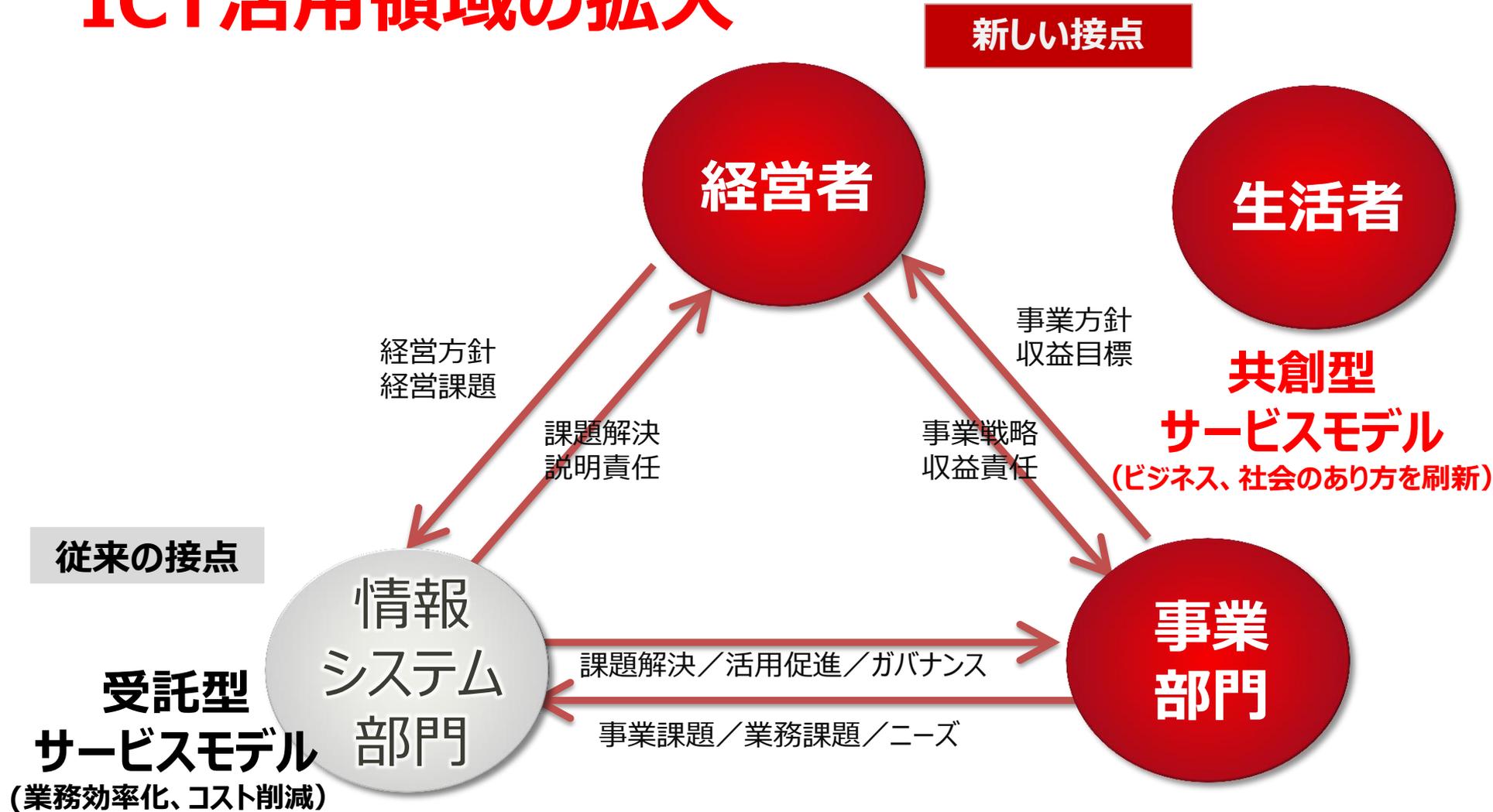
富士通株式会社

IS部門 戦略企画統括部 統括部長

柴崎辰彦

課題認識

ICT活用領域の拡大



オープン・サービス・イノベーションのプロセス

メディア化

場づくり

ものづくり/サービス化

アイデアソン/ハッカソン

クラウドファンディング

販売

②ユーザをパートナーにサービスを共創する

①事業を製品中心ではなく、サービス中心で捉え直す

④外部に対して開放的な新しいビジネスモデルに転換する

③内部のイノベーションを加速するために意図的に外部との知識変換を促す (オープンイノベーション)

問題発見
(共感/課題定義)

アイデア創発

プロトタイピング

開発

サービス拡大
/事業化

技術調達
(研究・開発)

資金調達
権利化

人材育成



プロセス



OSIのキーファクター



OSIプロセス実現の手段

共創のための手法 “ハッカソン”

これからの共創に必要な所作を身につける場

「ハック (Hack) 」と
「マラソン (Marathon) 」を
組み合わせて作られた造語

ソフトウェア技術者などが
短期間でソフトウェアやサービスを
開発するというイベントとして
世界中で開催



ベンチャーや大学生と 大企業のコラボ

テーマ：さくらをきっかけに東北を訪れる
人々を増やすアイデア・サービス

アイデアをアイデアに終わらせず、
わずか1.5日でカタチにする

■ エンジニア魂に火をつける

ハッカソン

「ハック (Hack) 」と「マラソン (Marathon) 」を組み合わせて作られた造語
ソフトウェア技術者などが短期間でソフトウェアやサービスを開発するというイベントとして世界中で開催



放送業界でハック！

アイデアソン開催：2015/10/17
ハッカソン開催：10/31・11/1

ICTを使ってテレビやラジオ、イベントをもっと面白くする。

- 2014年に放送業界初として大阪の毎日放送(MBS)で行われたハッカソンの第二回。MBSの7種類の番組、イベントをテーマに、115名の参加者がICTを使ってさらに面白くするアイデアを競い合う。
- 富士通グループからもチーム、個人で参戦。また映像スキャシ技術をAPとして提供。
- 優勝したアイデアは、**対象番組で正式に活用する方向で開発を継続**。



ぶんだいソン

〔アイデアソン開催：2015/10/24〕



大分大学×大分トリニータ “サッカーを通じて大分に活力を！”

- 大分大学とリーグ大分トリニータを運営する大分フットボールクラブは**大分県の新たな活力を創り出す**という大きな目的のもと、「大分トリニータと若い世代との絆を深めるアイデア」をテーマとしたアイデアソンを開催
- 学生、大分FC、教員、地元企業、NPO団体などが参加。
- アイデアソン前には大分市内や大分銀行ドームを対象とした**課題発見フィールドワーク**を取り入れ、**現場に根差したアイデアを創発**



Copyright 2014 FUJITSU I

調理のあるハッカソン!

アイデアソン開催：2015/12/26
ハッカソン開催：2015/12/27



高知のトマトを更に美味しくするレシピと
トマトファンを増やすアプリを開発する。

- 高知県、高知県園芸連、富士通、富士通総研で共催した、高知の特産品であるトマトを『宝石に変える』ためのハッカソン。
- 富士通グループからも多数参戦。また富士通グループの共創・学習支援ツールや、富士通の野菜工場で作った低カリウムレタスを参加者へ提供。
- **開発されたサービスアイデア/レシピは2016年2月末に大阪で開催されるトマトサミットin大阪へ。**



若手で新事業創造を 加速する

テーマ：新ビジネス創造の為の3つのテーマ

- 未来を担うプラットフォーム
- 新たなユーザー体験やサービスを形にする
- 未来のワークスタイルを描く

新事業創造のための「アイデアソン
／ハッカソン」を開催

■ 事業計画検討にハッカソンを応用

FUJI HACKとは

日本一の標高を誇り、世界中で人気の富士山
“FUJI”と富士通の“FUJI”を掛け合わせ、これから
若手が山を登るように成長してほしい思いを込め
て命名しています。



昨夏もやりましたFUJI HACK2015 日本最大規模のハッカソン



“受託型SEを”共創人材”へ、ハッカソンを推進する富士通”

日経BP社 ITpro特集記事

富士通は社内外の人材を含めたハッカソンを多数開催している。その狙いは受託型SEを“共創人材”へ育てること。社内ハッカソン「FUJI HACK」の事例や役員インタビューを基にその取り組みを浮き彫りにする。

The screenshot shows a web page from ITpro by 日経BP社. The main article is titled "[3] 富士通がハッカソンを推進する理由——人材育成と共創プロセスの確立を狙う". The article text includes:

年収1000万円以上の重課求人多数【エグゼクティブ転職】ITを活用した行政経営、行政サービス、業務改革の実務事例を紹介
中国とアジアでのビジネス展開において、従っておくべきIT事情とは
Androidを活用したサービスやアプリケーションの先進動向を紹介
製品やソリューションを詳しく解説【選刊ITpro Special】

受託型SEを“共創人材”へ、ハッカソンを推進する富士通 **日経BP社**
[3] 富士通がハッカソンを推進する理由——人材育成と共創プロセスの確立を狙う
 2015/02/12
 矢口 竜太郎＝日経コンピュータ（筆者執筆記事一覧）

第1回と第2回で紹介した「FUJI HACK」のほか、ここ数年、富士通はハッカソンイベントを多く実施している。

2014年4月12日～13日には、桜をきっかけにして東北を訪れる人々を導くアイデア・サービスを展開する「さくらハッカソン2014」を開催した。その実施にあたっては、富士通グループ外の参加者も募っている（関連記事：富士通が東北復興支援のハッカソン、自転車旅行向けサービスなどを開発）。

2014年3月から7月にかけては、立教大学経営学部佐々木ゼミ（前掲：佐々木宏教授）と富士通グループ社員が共同でアイデアソンを実施した（写真1）。富士通グループの所有する技術を使い、新しいビジネスのアイデアを作るというものだ。

写真1 富士通が立教大学経営学部佐々木ゼミと共同で実施したアイデアソンの様子
（画像のクリックで拡大表示）

記事目次へ >>>
 1 2 3 7 23 12
 日経BP社 共有 ブックマーク Pocket ツイート
 記事一覧
 ITproまとめ
 業界五輪
 キャリアアグリ
 ゲーション
 執筆本一覧
 記事カテゴリ
 ITpro全記事一覧
 特集
 ニュース
 連載
 インタビュー
 事例
 キーワード
 イベント
 週末スペシャル
 CIO
 Computerworld
 イベントINFO・PR
 世界最速ハイス
 ードプリンターが
 体験
 できる!
 RISO Print
 Festa
 全国展示会開催
 中

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/column/15/020200024/?ml>

企業から見たハッカソンの効果

■ 社外人材との交流により、多様な効果が期待できる

<会社としての効果>

人材育成

- 多様な人材との交流による
自社技術者の意識改革

ビジネス
チャンス拡大

- 自社の社員だけでは思いつかないようなアイデアの獲得
- 新たな事業機会、人脈づくりの場の可能性

技術・サービスの
新たな用途発掘

- 自社開発技術・サービスの新たな活用方法の発掘・検証の場

モチベーション
向上

- 日常業務とは異なる体験による
モチベーションの向上

自身の
客観評価

- 他者との技術力、プレゼンテーション力の客観的な評価

<個人としての効果>

あしたラボUNIVERSITY

「あしたのまちHack」

(関東2015/2/19-20開催)

(関西2015/2/26-27開催)

デジタルネイティブ世代との共創チャレンジ。

- これからの未来をつくる学生（デジタルネイティブ世代）を巻き込んだ共創活動へのチャレンジとして、2014年11月に始動。
- 全国の学生と富士通グループ若手社員のアイデアソン「あしたのまちHack」を核とし、全国の大学・学生との複合的な接点を仕掛けていくことにより、多面的な効果を狙う。
- 学生・社会人の枠を超えてつながり、価値観やアイデアをぶつけ合うことで、新しい価値創造。





あしたラボUNIVERSITY 「あしたのまちHack」

大分大学
前田瑞貴さん



“都会でもこんなに課題があるなんて知らなかった。大分にいるだけじゃわからないことがたくさん分かっていい刺激になりました”

富士通株式会社
大橋一代さん



“お金や時間にどうしても制限がある日常的な仕事と違って、アイデアソンは、学生と自由な環境でアイデアを出すことでさまざまな気づきを得られた”

プロ野球界初！ 「Packathon」

(2015/5/16-17開催)

野球の新しい楽しさ・ファン・価値を創る。

- パシフィックリーグマーケティング株式会社が富士通をはじめとする企業と連携しハッカソンを開催。
- 富士通が開発した映像シーン検索APIを使って、総勢100名を超えるメンバーが、**野球の新規ファン獲得に向けた、新たなサービスを開発。**
- 全10チームのサービスアイデアのうち、**2つが正式なサービス化に向けて開発を継続。**



プロ野球界初！「Packathon」

(2015/5/16-17開催)

パシフィックリーグ
マーケティング(株)
執行役員
根岸友喜さん



“ICTを取り入れることで、野球の観戦スタイルが多様化すれば、コアなファンを満足させるだけでなく、さらにファンの裾野を拡げることにもつながる”

富士通(株)
小口 淳さん



“野球好きはあえて参加者の対象から除外し、IT関係者を中心に募集をかけました。新しい野球の楽しみ方を、新しい人に届けることが目的”

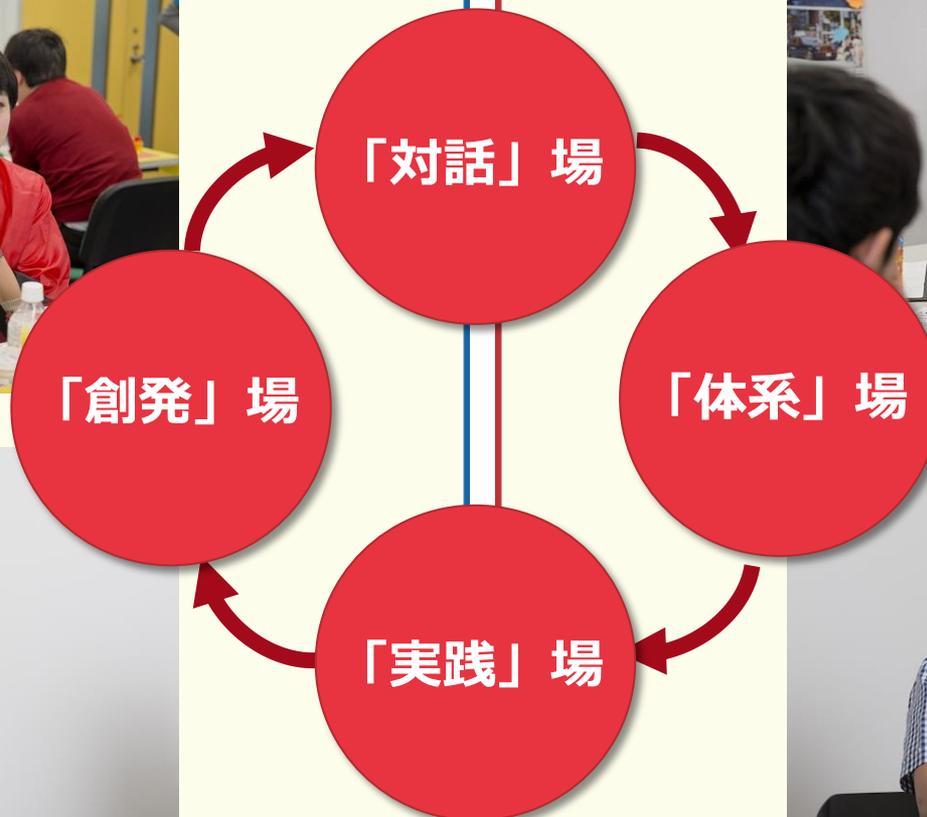
リテラシーとコンピテンシー

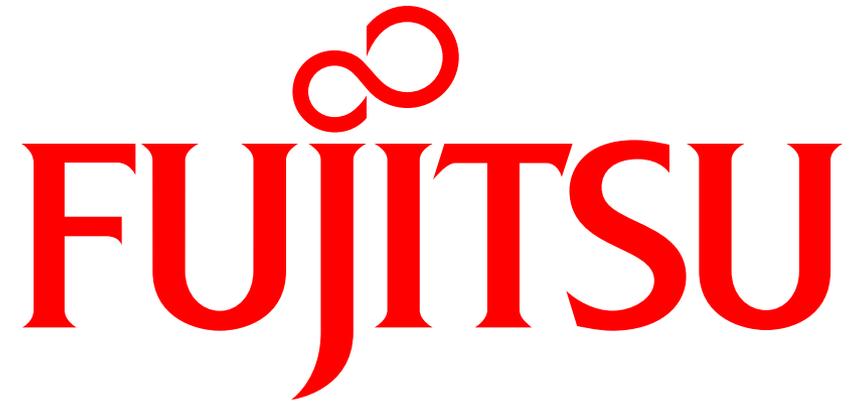
アイデアソンやハッカソンにより
サービス関係者のコンピテンシーやリテラシーを成長させる

サービスの利用者／提供者



サービスの開発者





shaping tomorrow with you